

富山市教育委員会会議録
令和6年9月定例会

1 日 時 令和6年9月27日(金曜日)

午前 10時00分 開会

午前 11時00分 閉会

2 場 所 Toyama Sakura ビル8階 教育委員会室

3 出席委員 教 育 長 宮 口 克 志
委 員 若 林 啓 介
委 員 高 田 健
委 員 石 動 瑞 代

4 説明のために出席した者

事務局長	関 谷 雄 一
事務局次長（総務・社会教育担当）	高 橋 洋
事務局次長（学校教育担当）	福 満 弘 信
教育総務課長	青 山 哲 也
学校再編推進課長	山 崎 悟
学校施設課長	高 瀬 雅 基
学校教育課長	河 原 弘 幸
学校保健課長	由 水 正 恵
生涯学習課長	加 藤 孝 一
教育センター所長	荒 瀬 誠
教育行政センター所長	横 越 純
郷土博物館長代理	中 本 八 穂

5 職務のため会議に出席した事務局職員

学校教育課（いじめ対策推進班長）	吉 野 貴 喜
教育総務課主幹	船 木 寛 人
教育総務課長代理（管理係長）	塚 本 紘 己
教育総務課主事	福 島 魁 人

6 傍聴人数 0人

7 付議案件

(1) 議 案

議案第38号 富山市教育委員会人事について

(2) 報告事項

(3) その他

その他17 富山市猪谷関所館企画展「飛弾街道と野仏群～野仏に込められた願い～」

その他18 富山市郷土博物館特別展「富山の浮世絵一売薬版画」

その他19 富山市佐藤記念美術館特別展「漆芸家 川西重澄の全貌」

8 会議の要旨

【開会】

[教育長] 開会を宣言する。
本日は、藤井委員が欠席であるが、教育長及び委員の過半数が出席しているため、会議は成立している。

【前回会議録について】

[教育長] 8月教育委員会定例会会議録について意見等を求める。
[各委員] (意見なし)
[教育長] 意見なしのため、前回会議録は承認された。

【非公開案件について】

[教育長] 議案第38号は人事に関する案件である。また、報告事項23は、

個人情報を含む案件である。よって、非公開としたいが、よろしいか。

[各委員]

異議なし。

[教育長]

承認を得られたので、議案第38号、報告事項23については非公開とし、その他19の後に行うこととする。

【報告事項22】

[教育長]

報告事項22について事務局から説明を求める。

[教育総務課長]

(報告事項22について説明)

[教育長]

ただ今の件について、質問等あるか。

[石動委員]

学びの多様化学校について、今年度の調査結果は定例教育委員会で説明してもらえるのか。その機会があるとしたら、いつ頃になるのか見込みがあれば教えてほしい。また、部活動の地域移行や不登校支援のサポートルーム等に関わる専門性を持った地域の人材確保について、努めていることや課題があれば教えてほしい。

[教育総務課長]

学びの多様化学校について、現段階としては今年度の調査まで終わり、教育委員会としての考え方はまとまりつつあるので、機会をみて伝えたいと思う。

[学校教育課長]

部活動の地域移行に関する指導者の中にはスポーツエキスパート等に関わってきた人もおり、指導実績や各学校・地域についての理解がある。部活動指導員等の専門性を持った人に関しては、推薦してもらうことで人材発掘に努めている。県では、競技団体と連携して人材バンクを構築しているが、人手不足は避けられないと聞いている。サポートルームのスタッフは求人募集を出して採用している。教員免許や心理専門資格等は必須条件ではないが、資格保有者を優先的に採用するように努めている。さまざまなところで人材は不足しているため、学校と協力しながら求める人材を育成していく視点も大事かと考えている。

[高田委員]

路線バス会社が運転手不足のため運行本数を削減するなど、非常に困っているという話を聞いたことがあるが、現時点で水橋学園のスクールバス運転手の確保は大丈夫だという認識でよいか。

[学校再編推進課長]

現在、予算取りをしたところであり、これから指名競争入札になっていく状況だが、相談した旅客事業者からは「難しい」という事情を聞いている。そのため今回は、交通事業者から運転手付きでバスを借りる主流の形態ではなく、自家用バスを保有し、運転手は委託をかける形態を考えている。メリットとして、普通自動車第二種運

転免許の必要がなく、普通自動車第一種運転免許を取得していればスクールバスの運転をすることができる。裾野を広げる形で進めていきたい。

[石動委員] スクールバスには添乗員も乗るのか。それとも、運転手だけで運行するのか。

[学校再編推進課長] 現時点では運転手のみの運行を考えているが、これから地域の保護者と話し合いながら検討していきたい。

[石動委員] 幼稚園バスの話になるが、園児が騒いだときに声を強くしたり、頻繁に声をかける運転手がいると聞いたことがある。小学生以上なら車内で騒ぐことはないかもしれないが、いろいろな問題がある中で、運転手の人格も大事なので、十分配慮して委託会社に採用条件を付けてもらいたい。

[学校再編推進課長] 来年度、実際に子どもを乗せる試行運転を予定している。それも参考に、運転手だけで運行できるのかも検討していきたい。

[高田委員] スクールバスに乗る子どもたちのことは、基本的にあらかじめ把握していて、点呼などで出欠確認をするのか。

[学校再編推進課長] バスの運行開始にあわせて、バスの位置情報などを保護者と学校で共有する、ICTを活用した情報管理システムの導入を考えている。

[高田委員] 降車確認や車内確認を怠ったことが原因で子どもが亡くなった事件があった。また、子どもが自宅を出ていたものの、学校に来ていないという連絡を保護者にしていなかったということもあったため、そのようなことがないように気を付けてほしい。

[若林委員] 義務教育学校の教育課程について、「4－3－2制」を取り入れていくことを想定しているのはなぜか。また、転校や転入があった場合はどうなるのか。

[学校教育課長] 義務教育学校に限らず、小中連携教育に関する研究はずっと前から行われてきている。その中には「6－3制でいう小学校5～6年生と中学校1年生の精神的な発達段階は同じ」という研究も出てきている。それらを参考に、6－3制にこだわらず4－3－2制の導入を想定している。また、転校・転入に関しては、義務教育学校だからといって特別なことはない。学習指導要領に則った授業を展開していくので、多少の差はあるかもしれないが大きな違いはないと考えている。

[若林委員] 配慮してもらえるとという感覚でよいか。

[教育長] 県外や市外から転入してくると、使用している教科書が違っていたり、進んでいる単元の配列が多少違うこともある。その場合は学校で個別の対応をしているので、それと同様になるかと思う。水橋

学園は、水橋を知り、学び、貢献する「水橋学」という地域学習を小学１年生から設ける。また、英語も小学１年生から触れている。その子どもたちの中に、水橋を知らない子どもや英語に全く触れていない子どもが転入してくることもあると思うので、一人一人への対応や配慮の必要がある。その点も含めて、新設校に勤務する教職員を対象にした、事前研修等も必要になってくると考えている。

【その他 １７～ １９】

[教育長] その他 １７について事務局から説明を求める。

[教育行政センター所長] （その他 １７について説明）

[郷土博物館長代理] （その他 １８， １９について説明）

[教育長] ただ今の件について、質問等あるか。

[各委員] 質問等なし。

[教育長] 以上をもって公開案件に係る議事は終了したが、その他、質問等はあるか。

[各委員] 質問等なし。

[教育長] 非公開案件に移る。傍聴、マスコミの方はご退席願う。

《以下、非公開事項のため概要のみを記載する》

【議案第 ３８号】※非公開案件

[教育長] （議案第 ３８号について事務局から説明を求める。）

[教育総務課長] （議案第 ３８号について説明する。）

[教育長] （議案第 ３８号についての採決について、各委員に諮る。）

[各委員] （議案第 ３８号について同意する。）

[教育長] （議案第 ３８号について、原案のとおり可決したことを報告する。）

【報告事項 ２３】※非公開案件

[教育長] 報告事項 ２３について事務局から説明を求める。

[学校教育課長] （報告事項 ２３について説明）

[教育長] ただ今の件について、質問等あるか。

[各委員] 質問等なし。

[教育長] 以上をもって本日の会議は終了したが、その他、質問はあるか。

[各委員] 質問等なし。

【閉会】

[教育長] 閉会を宣言する。

以上、会議の要旨を記載し、その相違ないことを証するため署名する。

令和6年10月 日

教 育 長